

原子力事業者防災訓練に盛り込む 内部火災シナリオ案について

2021年10月13日
北陸電力株式会社

1. 訓練目的

内部火災事象に対して、火災特有のマルファンクション（プラント状態の把握を困難とする想定等）を付与し、要員の事故対処能力向上を図る。

訓練シナリオ作成の前提条件

- ✓ 訓練シナリオ上、火災規模を上げる等の実効性向上を図る状況を付与するため、耐震設計上破損しない機器の破損による火災発生や消火設備が機能しないこと、複数区画での火災重畳を想定する。
- ✓ 原災法15条に該当するGE事象及び炉心損傷を発生させるため、内部火災だけでなく、必要により地震等の外部事象を重畳させるものとする。
- ✓ 内部火災が原因でSE事象に至るものとする。
- ✓ 適合炉1基は炉心損傷に至るものとする。
- ✓ 実働による模擬消火活動訓練を行う。
- ✓ 公設消防による消火活動はシナリオ上、期待しない。

訓練情報のため非開示

2. 内部火災のシナリオ案選定

訓練情報のため非開示

3. マルファンクションの設定

火災特有の事象として挙げた以下のポイントに基づき、事故対処能力向上が期待できるマルファンクションを設定する。

訓練情報のため非開示

3. マルファンクションの設定

訓練情報のため非開示

3. マルファンクションの設定

訓練情報のため非開示

3. マルファンクションの設定

訓練情報のため非開示

4. シナリオ案

訓練情報のため非開示

(参考) 「訓練情報のため非開示」の火災範囲

訓練情報のため非開示

(参考)「訓練情報のため非開示」の範囲

訓練情報のため非開示

訓練情報のため非開示

訓練情報のため非開示